

「新しい経験」

立命館大学 田村美佳

私は今回初めて、海外の試合に参加しました。日本チームのメンバーは、昔から強いメンバーばかりで、私よりもずっと色々な経験をしている方が多かったので、1番年上の私が足を引っ張ったりしないかなと思っていました。それと同時に頼りがいのあるメンバーだったので楽しみもありました。そしてポーランドに来て、日本人選手はもちろん、海外の選手と試合をして、とても勉強になることが多かったです。私が印象に残っている試合は、3試合ありました。1試合目は、決勝トーナメントの1回戦の韓国人選手との試合でした。私自身、試合の中で打つことばかりを考えてしまって、点をとるイメージがなかなか湧かない試合でした。特に自分が相手のプレーに合わせることが全体的にできていなかった試合だったので、この試合では反省する点が多かったです。2試合目は、準決勝で戦った中国人選手です。カットマンだったのですが、日本の学生と比べて、返ってくる回数も多く、1点1点をとることがとてもしんどい試合でした。1点をより確実にとるという意識で試合をしていたので、試合の中でミスを少なくすることができたので、私の中では新しい感覚で試合が出来ました。3試合目は、決勝戦の岡田さんとの試合でした。前半は私にとって不利だったのですが、4セット目の時に、私が普段しないような点数の取り方ができたことが一番印象に残りました。その1本で私のプレーに余裕が生まれました。その余裕は今でもできる時とできないときがありますが、自分の中でどのようにプレーをすれば良いのか分かるので、ポーランドに行って良かったなとすごく思います。

最後に、私を選んでくださった日学連の皆様ありがとうございます。を選んでくださったおかげでたくさん経験が出来ました。この経験を活かして、今後の試合で活躍できるように日々精進していきます。ありがとうございました。